

直管LEDランプ搭載  
防雨・防湿型照明器具

保管用

(防雨・防湿型) 品番 NNF41701 LE9 NNF41720 LE9  
NNF42701K LE9 NNF42720K LE9

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

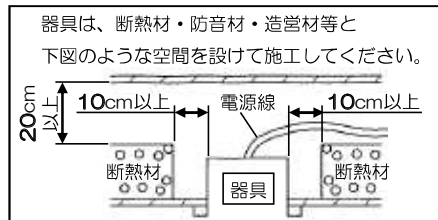
施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

警告

- 施工は、施工説明にしたがい確実に。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- 断熱材、防音材をかぶせて使用しない。火災の原因となります。
- 水平天井埋込専用ですので、壁取付けや天井直付けはしない。落下・感電・火災の原因となります。
- 器具、ランプを分解、改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 必ずパナソニック製LEDランプを使用する。管径・口金が異なると防水性能が損なわれ、落下・感電・火災の原因となります。
- ランプはガラス製のため、取扱いに注意する。破損によるケガの原因となります。万一、破損した場合、すぐに電源を切り交換してください。
- ランプが破損した状態で使用しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 表示された電源電圧（定格電圧±6%）、周波数で使用する。指定外の電源電圧・周波数で使用すると感電・火災の原因となります。
- 電源線の接続後の絶縁・防水処理（融着テーピング等）は確実に。感電・火災の原因となります。
- 単線とより線の直接接続（ねじり接続等）はしない。必ず専用工具で圧着すること。火災の原因となります。



注意

- 周囲温度は、5～35℃で使用してください。指定外の周囲温度で使用すると、ちらつきや短寿命の原因となります。
- 屋側で使用できます。ただし、風の強い場所、業務用浴室やサウナなどの常時高温・高湿度になる場所、腐食性ガスが発生する場所、塩害を受ける場所、屋内プールなどの塩素雰囲気さらされる場所、振動の強い場所では使用しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- 器具の取付け、取外しは手袋など保護具を使用してください。ケガの原因となります。

施工上のご注意

- スイッチを接地側に取付けた場合、消灯後もランプが薄暗く発光する場合がありますので、必ず非接地側(電圧側)にお取付けください。(接地側の無い電源では両切りスイッチをおすすめします。)
- T/U付6Aリレーを使用する場合、照明器具の接続台数に制限があります。詳細については、該当T/U付6Aリレーのカタログ・商品仕様書をご参照ください。

# 各部のなまえと取付方法

## 警告

- 施工は、施工説明書にしたがい確実に行ってください。施工に不備があると、**落下・感電・火災の原因となります。**

- 器具の取付け取外しは手袋などの保護具を使用する。**ケガの恐れがあります。**

器具品番	埋込穴寸法	ボルトピッチ
NNFW41701	130×1250	800
NNFW41720		
NNFW42701K	220×1250	
NNFW42720K		

### 1. 取付前の確認

- 器具質量 (5.1kg : NNFW42701Kの場合) に十分耐えるよう取付ボルト取付部の強度を確保する。
- 取付ボルトは、W3/8または、M10を使用する。**不備があると器具落下の原因となります。**

### 2. 埋込穴の開口

- 埋込穴、取付ボルトを図のように用意しておく。



### 3. 本体の取付

- 電源穴にブッシングを取付ける。
- 電源線、アース線を本体の電源穴から引き込んでおく。
- 電源ブッシングがつかっていない電源穴を使用する場合は、必ずブッシングを付替えてください。
- 本体を取付ボルトに確実に取付ける。(推奨トルク値 : 1.5N・m) (締め過ぎると器具・天井材の変形・破損する場合があります)**不備があると器具落下の原因となります。**

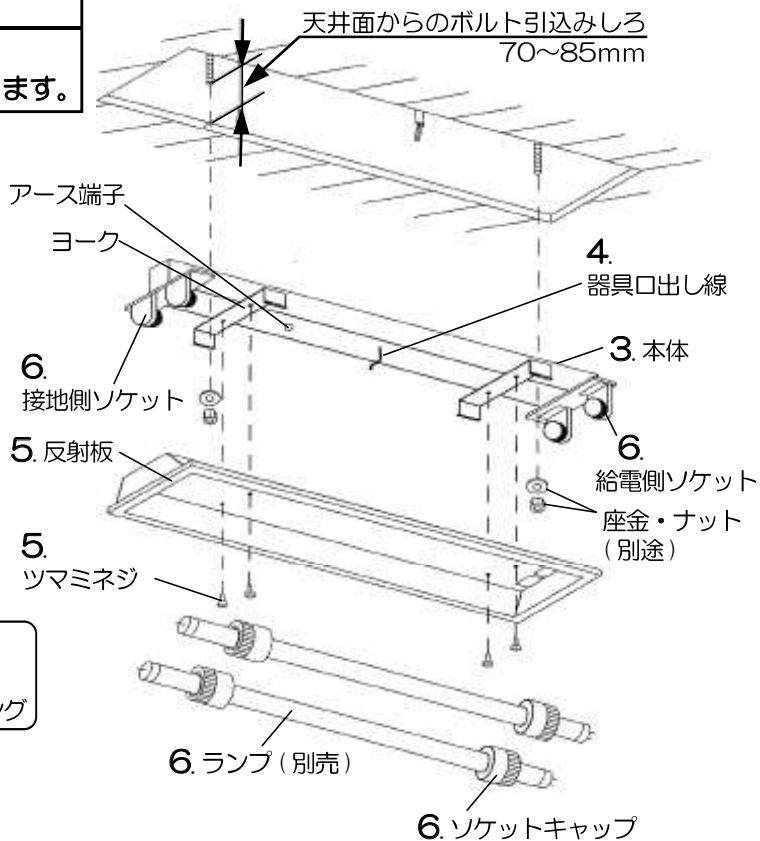
### 4. 電源線・アース線の接続

- 電源線・器具口出し線・アース線を接続する。
- 接続部の絶縁、防水処理 (融着テーピング等) を確実にを行う。
- D種 (第3種) 接地工事が必要。
- 口出し線の接続は、電気設備技術基準の省令第7条、および同解釈第12条にしたがうこと。
- 口出し線の線種 : ビニル絶縁電線  
電源線の線径 : 0.75mm<sup>2</sup> アース線の線径 : 1.25mm<sup>2</sup>

**警告** 接続、保護が不完全な場合、感電・火災の原因となります。

- 電源線接続後、余分な電源線は電源穴へ押し込むか、本体側へ押しつけて処理する。(必要な場合は防水シール材などで埋める)

※NNFW42701Kの例で説明しています。



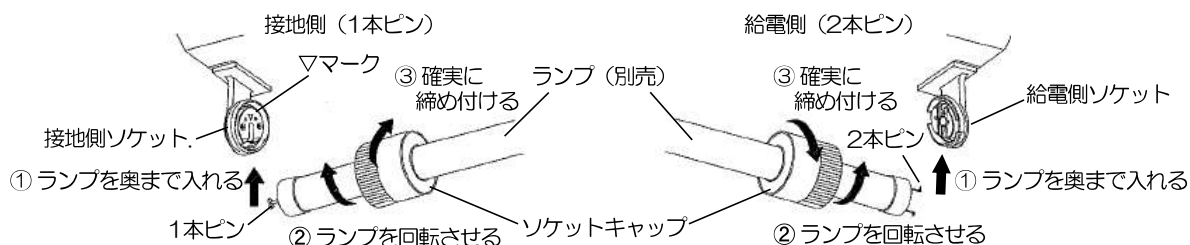
### 5. 反射板の取付

- ツマミネジを締め付けて、反射板を確実に取付ける。**取付けが不完全な場合、反射板落下の原因となります。**

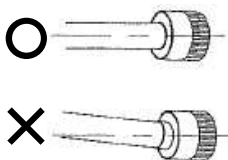
### 6. ランプを確実に取付ける。

- 下図ランプ取付手順とポイントもご参照ください。
- ランプ (別売) にソケットキャップをはめこむ。
- マーク付ソケットにランプピン1本ピン側を取付ける。(ランプに方向性があります。向きを確認して取付けてください。)
- ランプをソケットの奥まで挿入して、確実に取付ける。
- 発光部が照射方向となるように90°回転させて取付ける。**取付けが不完全な場合、ランプ落下、照度低下の原因となります。**
- ソケットキャップをソケットにしっかりと締め付ける。**取付けが不完全な場合、防水性能が損なわれ、絶縁不良または感電の原因となります。**

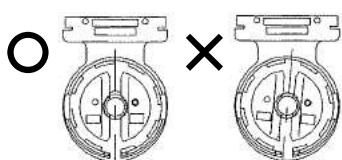
### 6. ランプ取付手順とポイント 絶縁不良、感電のおそれあり。下記注意点にしたがい、確実に取付けてください。



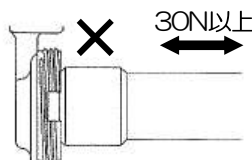
ソケットキャップ取付時の注意点 : ランプをまっすぐに挿入する。



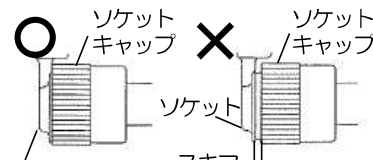
①の注意点 : 給電側ソケットの回転部分が下図の位置にあることを確認する。



②の注意点 : ランプ長手方向に30N以上の力を加えない。



③の注意点 : ソケットキャップとソケットにスキマが出ないように締め付ける。(中途半端締め付け、斜め締め付けをしない。)



・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

## 安全に関するご注意

### ⚠ 警告

- 器具、ランプを分解、改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- ランプはガラス製のため、取扱いに注意する。破損によるケガの原因となります。  
万一、破損した場合、すぐに電源を切り、交換してください。
- ランプが破損した状態で使用しない。破損した状態でも点灯しますが、使用し続けると防水性能が損なわれ、落下・感電・火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり、異様な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。
- ランプの取付け・取外しや清掃の際は必ず電源を切り、水分を取り除く。  
通電状態で濡れたソケットに触れたり、ソケット内部の導電板に触れたりすると感電の原因となります。

### ⚠ 注意

- シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で器具を拭かないでください。変色、変質、強度低下による破損の原因となります。  
水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
- 照明器具には寿命があります。設置して10年(※1)経つと外観に異常がなくとも内部の劣化は進行しています。  
点検・交換してください。※1: 使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
  - ・ LED光源は寿命が来ても、暗くなりますが点灯し続けます。  
点灯できるからといって継続して使用が可能というわけではありません。
  - ・ 周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
  - ・ 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。  
3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。(チェックシート番号: CLX2021JA)  
点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災に至る場合があります。

■ LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。

### 使用上のご注意

- ・ 調光機器などとの組合せはできません。
- ・ LED素子にバラツキがあるため、同じ品番のランプでも光色・明るさが異なる場合があります。予めご了承ください。
- ・ ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。  
雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
- ・ 同時通訳機等の誘導無線ご使用時、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。
- ・ 直射日光の当たる状態では点灯しないでください。過熱による故障・短寿命の原因となります。

## 保証について

- 保証について・・・この商品の保証期間は1年間です。但し、LED電源は3年間です。  
ランプなどの消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- 保証書について・・・保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- 補修用性能部品・・・弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年間保有しております。  
の保有期間 補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

## お手入れ・ランプ交換

- 器具の清掃について・・・水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。  
シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。  
**変色・変質・強度低下による破損の原因となります。**
- ランプ交換について・・・反射板表示にしたがって、下記の指定された部品を使用してください。
  - 必ずパナソニック製LEDランプを使用してください。  
管径・口金が異なると防水性能が損なわれ  
**落下・感電・火災の原因となります。**
  - 起動方式により適合ランプが異なります。  
**異なる組合せでご使用された場合、不点やチラツキ、故障の原因となります。**
  - ランプには方向性がありますので、向きを確認して取付けてください。
  - ランプはソケットの奥まで確実に挿入して取付けてください。  
※詳細は、2ページ「各部のなまえと取付方法」をご参照ください。
  - ソケットキャップをソケットにしっかりと締め付ける。

取付けが不完全な場合、防水性能が損なわれ、絶縁不良または感電の原因となります。

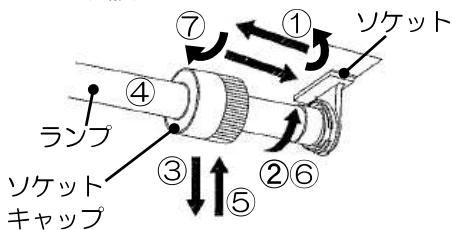
交換部品

器具品番	直管LEDランプ
NNFW41701 LE9 NNF41720 LE9	LDL40S
NNFW42701K LE9 NNF42720K LE9	

## 警告

- 感電のおそれあり。  
ランプ交換時は、必ず電源を切ってください。
- ランプ破損のおそれあり。  
ランプはガラス製です。取扱いに注意してください。
- やけどのおそれあり。  
点灯中や消灯直後はランプやその周辺をさわらないこと。

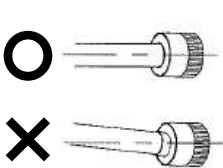
(ランプ交換のしかた)



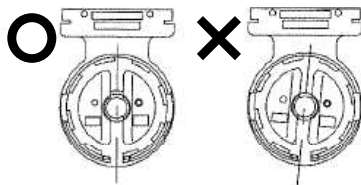
- ①ソケットキャップをゆるめ、ソケットから取外す。
- ②ランプを90°回転させる。
- ③ランプを下方向に取外す。
- ④新しいランプにソケットキャップをはめこむ。
- ⑤ランプをソケットに取付ける。
- ⑥ランプを90°回転させる。
- ⑦ソケットキャップをソケットにしっかりと締め付ける。

取付けが不完全な場合、防水性能が損なわれ、絶縁不良または感電の原因となります。

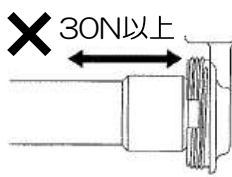
④注意点：  
ランプをまっすぐに挿入する。



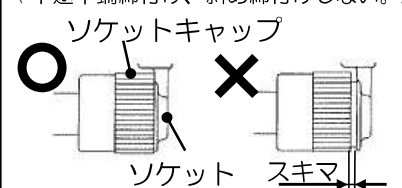
⑤の注意点：給電側ソケットの回転部分が下図の位置にあることを確認する。



⑥の注意点：  
ランプ長手方向に30N以上の力を加えない。



⑦の注意点：ソケットキャップとソケットにスキマが出ないように締め付ける。  
(中途半端締め付け、斜め締め付けしない。)



## ■ 定格

< NNF41701 LE9 / NNF41720 LE9 >

ランプ	定格電圧	100V	200V	242V
LDL40S/33	入力電流	0.38A	0.19A	0.16A
	消費電力	38W	37W	37W
LDL40S/29	入力電流	0.34A	0.17A	0.14A
	消費電力	34W	33W	33W
LDL40S/25	入力電流	0.29A	0.14A	0.12A
	消費電力	29W	28W	28W
LDL40S/22	入力電流	0.27A	0.13A	0.11A
	消費電力	27W	26W	26W
LDL40S/19	入力電流	0.24A	0.12A	0.10A
	消費電力	24W	23W	23W
LDL40S/14	入力電流	0.20A	0.10A	0.09A
	消費電力	20W	20W	20W

< NNF42701K LE9 / NNF42720K LE9 >

ランプ	定格電圧	100V	200V	242V
LDL40S/33	入力電流	0.73A	0.36A	0.31A
	消費電力	73W	71W	71W
LDL40S/29	入力電流	0.64A	0.32A	0.27A
	消費電力	64W	62W	62W
LDL40S/25	入力電流	0.55A	0.27A	0.23A
	消費電力	55W	54W	54W
LDL40S/22	入力電流	0.50A	0.25A	0.21A
	消費電力	50W	49W	49W
LDL40S/19	入力電流	0.45A	0.22A	0.19A
	消費電力	44W	44W	44W
LDL40S/14	入力電流	0.37A	0.18A	0.15A
	消費電力	37W	36W	36W

パナソニック株式会社 ライティング事業部

〒571-8686 大阪府門真市門真1048

お問い合わせ先 パナソニック 照明器具・ランプ商品ご相談窓口 <https://sumai.panasonic.jp/support/>

0120-187-441 (フリーダイヤル) 【受付時間】月～土/9:00～18:00 (祝日・三が日を除く) ※携帯電話からもご利用になれます。  
0120-872-460 (FAX) (Help desk for foreign residents in Japan Tokyo(03)3256-5444 Osaka(06)6645-8787 Open:9:00-17:30(closed on Saturdays/Sundays/national holidays))

KD1111-110522